

清瀬駅南口地域児童館整備基本計画策定に向けた 市民ワークショップ 実施報告書



令和3年7月

清瀬市企画部企画課

目次

1. 実施概要	1
(1) 実施目的	1
(2) 実施日時・参加方法等	1
(3) 対象者	1
(4) 募集方法	1
(5) ワークショップの内容	2
2. 実施結果	3
(1) 参加者	3
(2) グループ①	4
(3) グループ②	6
(4) グループ③	8



1. 実施概要

(1) 実施目的

清瀬市では、「清瀬市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月改訂）」で掲げる「子どもと幸せを育む”舞台”」を実現するため、清瀬駅南口地域に新たな児童館の整備を計画している。児童館の整備に際しては、中央図書館との複合化、中央公園との一体的な整備も含めて検討する。

「清瀬駅南口地域児童館整備基本計画」の策定にあたり、幅広い年代の方々より、「こんなことができるといいな」や「こんなイベントがあったらいいな」など、新しい児童館・図書館・公園で提供されるサービスに関するアイデアを収集することを目的として、次のとおり市民ワークショップを開催した。

なお、収集したアイデアは、「清瀬駅南口地域児童館整備基本計画」策定の参考とする。

(2) 実施日時・参加方法等

回	日時	参加方法等
第1回	令和3年6月27日（日）10:30～12:00	会場参加：清瀬市役所 本庁舎（研修室3、会議室3-1・3-2） ウェブ参加：WEB会議システム（ZOOM）
第2回	令和3年7月11日（日）10:30～12:00	会場参加：清瀬市役所 本庁舎（研修室1～2、会議室3-1・3-2） ウェブ参加：WEB会議システム（ZOOM）

※原則両回とも参加

(3) 対象者

市内在住・在勤・在学の小学4年生以上（定員20名程度）

(4) 募集方法

- 市公式ホームページに令和3年5月11日より掲載
- 市報 令和3年5月15日号への掲載
- 市公式ツイッター・フェイスブックに令和3年5月18日投稿
- 清瀬駅南口地域児童館整備予定地周辺市立学校（芝山小学校、第三小学校、第四小学校、第六小学校、第七小学校、第二中学校、第四中学校）に通学する児童・生徒の保護者に対して令和3年5月20日メール一斉配信

(5) ワークショップの内容

- 各回の次第

回	次第
第1回	<ul style="list-style-type: none"> これまでの市での主な取組（計画の策定や、市民からの意見聴取等の経緯）の説明 意見交換：“新しい児童館・図書館・公園で受たいサービス”のアイデア出し（アイデアソン形式） <p>アイデアソンとは： 「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語。さまざまなメンバーがグループごとに集まって、議論を通じて新たなアイデアを生み出す手法を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとのアイデア発表 第2回までの宿題の提示：第1回で出されたアイデアのうち、自身のグループで出されたアイデアから、「いいな」と思うアイデアを3つ選択
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換：参加者から「いいな」とされた数の多かったアイデアに関して、“新しい児童館・図書館・公園で受たいサービス”のブラッシュアップ グループごとのアイデア発表

- 2回のワークショップを通じたグループごとのテーマ及び目標

グループ	テーマ	目標
①	地域住民が集まって過ごせる 児童館・図書館・公園とは、どのようなことができるところか	多くの地域住民が集まる児童館・図書館・公園で提供されるべきサービスについて議論し、その実効性を高める
②	子どもを安心して連れていける 児童館・図書館・公園とは、どのようなことができるところか	大人が期待する児童館・図書館・公園で提供されるべきサービスについて議論し、その実効性を高める
③	子どもや学生が行ってみたいと思う 児童館・図書館・公園とは、どのようなことができるところか	子どもや学生にとって魅力的な児童館・図書館・公園で提供されるべきサービスについて議論し、その実効性を高める

※第1回・第2回ともに同一グループにて意見交換

2. 実施結果

(1) 参加者

- 第1回：計13名

グループ	参加者
①	計5名（会場） …30代：2名、50代：1名、70代：1名、80代：1名
②	計4名（ウェブ） …30代：1名、40代：1名、50代：2名
③	計4名（会場） …～10代：3名、40代：1名

※参加予定者のうち4名欠席

- 第2回：計14名

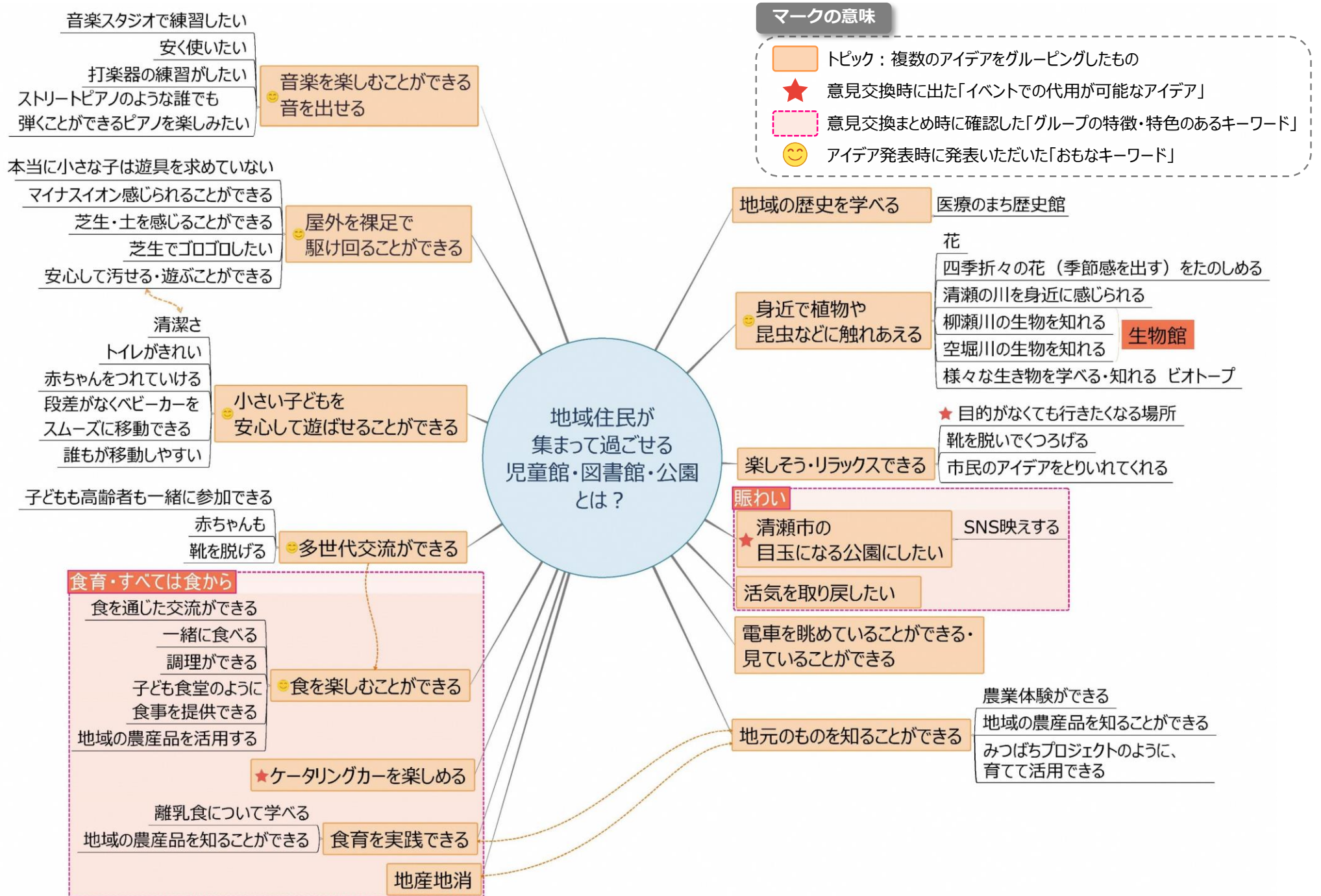
グループ	参加者
①	計5名（会場） …30代：1名、50代：1名、70代：1名、80代：2名
②	計4名（ウェブ） …30代：1名、40代：1名、50代：2名
③	計5名（会場） …～10代：3名、20代：1名、40代：1名

※参加予定者のうち3名欠席



(2) グループ①

第1回：“新しい児童館・図書館・公園で受きたいサービス”のアイデア出し



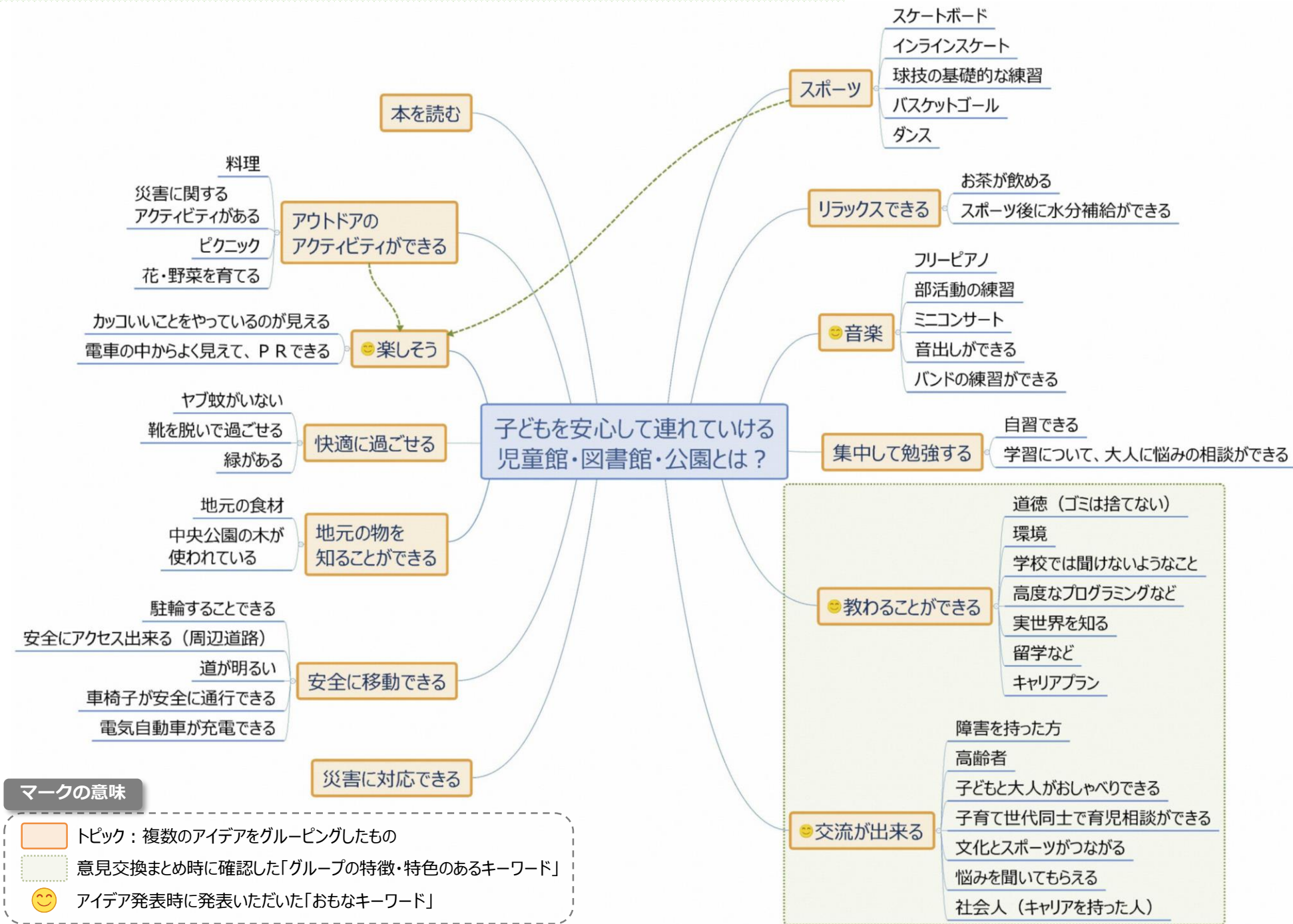
議論した項目 選んだトピック等	必要な 整備等	主体	協働で 進められること	想定される使い方 (ターゲットを含む)	実現に向けた 具体的な方法や課題	受益者負担	地域資源や 人材	追加で整備が 必要なもの(要望)	他
食を楽しむことが できる/ 地元のものを知 る	シェアキッチンと しても利用可能 な調理場/ 子ども食堂	市民	・子どもが主体、 皆で助ける	・子ども食堂 (子どもたちへの食事の提供) ・シェアキッチン	・シェアキッチンがあればある程度 収益が得られる(ペイできる)		・市民農園 利用者 ・地域産品	・飲食場所 (食堂・カフェスペース)	・市民農園利用者がさばききれない 食材を活用する
		子ども・ 学生		・子ども食堂などの提供の際に 子どもたちも調理に加わる ・季節の食材を使った料理体験 などのイベント		・子ども食堂は無料		・飲食場所 (食堂・カフェスペース) ・安全対策が取られた キッチンや調理器具	
		民間事 業者や 団体	・子どもが主体、 皆で助ける	・シェアキッチン ・キッチンカー	・季節の食材、地域の食材を 加えてもらう ・地域を知ってもらうことにつながる 地域の食材を加える	・有償 (市内の業者や地 域の食材利用 者は安くするなど 段階的な料金を 設定)	・JA ・地元農家 ・飲食店 ・地域産品	・飲食場所 (食堂・カフェスペース) ・販売ブース	・民間は有料として、収益分は子ども 食堂などに回す仕組みとする ・民間の飲食店がシェアキッチン を利用した出店を行うことで、いつも 違う味が楽しめる ・使用した地域食材をその場で購入 できる
		行政			・市が儲かる仕組みづくり (継続性) ・市民農園の利用規約の変更 (売却可能とするなど) ・児童館に調理できる場を設ける (法解釈) ・民間利用と市民利用を配分 (収益を得る事だけが目的 ではない)				・民間は有料として、収益分は子ども 食堂などに回す仕組みとする
音を出せる/ 音楽を楽しむこ とができる/ 様々な練習が できる/ 施設を通して 地元を知る <small>※屋内を想定 (屋外と屋内では 騒音対策等配慮 事項が異なる)</small>	音楽スタジオ/ 練習できる場 所・スペース/ 可変式で多目 的利用できる 部屋	市民		・気軽に楽器に触れられる ・楽器の練習ができる	・音楽スタジオだけではなく、他の 練習もできる十分なスペースの 確保	・建物全体でペイ できるよう少しでも 安く	・調律師 ・音楽関係者	・ストリートピアノなど/ 音響設備/防音設備	
		子ども・ 学生		・音が出せる ・ダンスができる ・練習やちょっとした発表ができる					
		民間事 業者や 団体	・ネーミング ライツ ・CSR活動	・職場体験スペース ・WS ・バーチャルツアー		・子どもたちが安価に 使えるように調整	・楽器屋 ・地元企業		・国内トップシェアを誇るものづくり 企業など地元企業を知ってもらう、 様々な職業を知ってもらう場
		行政	・ネーミング ライツ		・ネーミングライツの採用			・防音性能がある可変性を 持った機能	・施設名称の公募

<グループ① 総括>

「子どもを主体としつつ、世代を問わずみんなが元気になれる場所」とすることを前提として、地域の食材や地元企業など「地元を知ってもらおう」仕組みや、民間事業者や団体利用者の利用による収益分を子ども食堂の運営に回すなど「運営面において持続可能な施設にする」ための仕組みが必要という結論に至った。

(3) グループ②

・ 第1回：“新しい児童館・図書館・公園で受きたいサービス”のアイデア出し



マークの意味

- トピック：複数のアイデアをグルーピングしたもの
- 意見交換まとめ時に確認した「グループの特徴・特色のあるキーワード」
- 😊 アイデア発表時に発表いただいた「おもなキーワード」

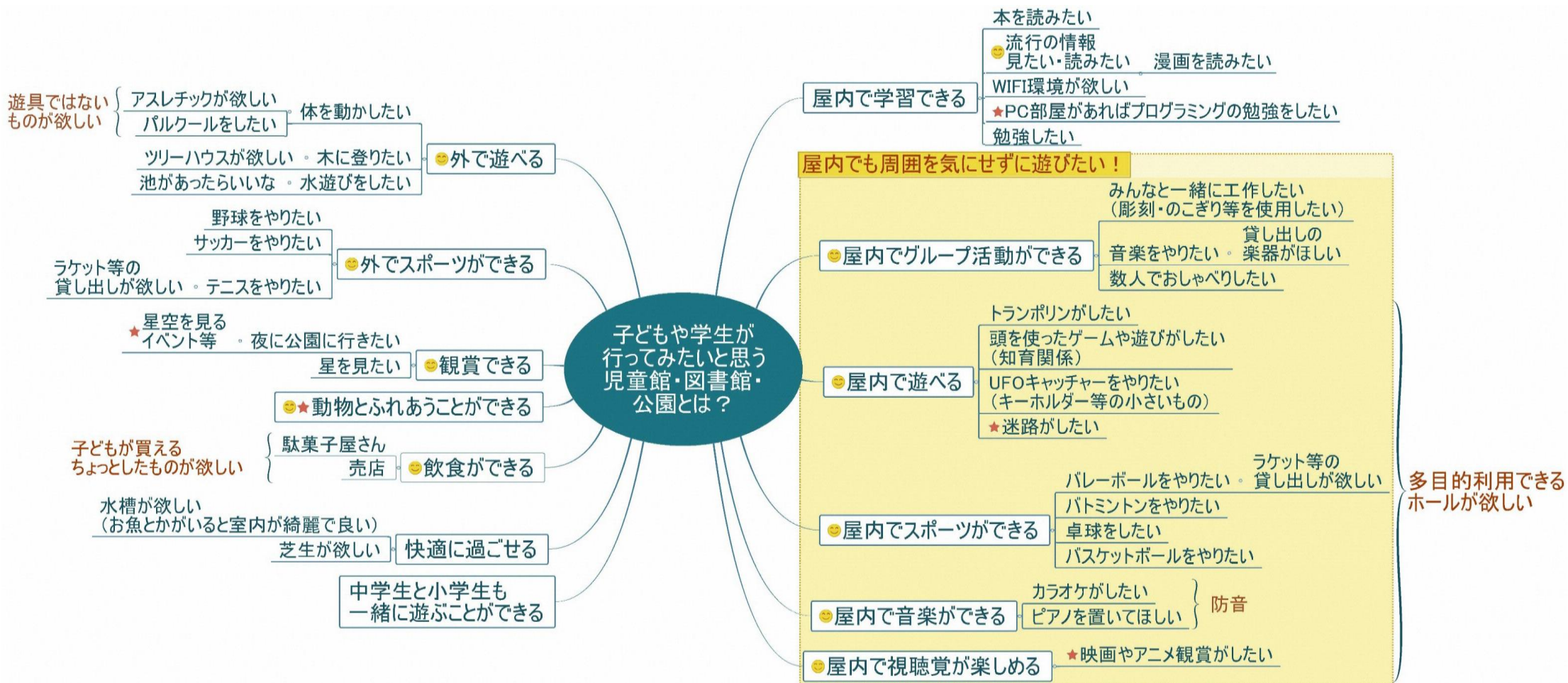
議論した項目 選んだトピック等	必要な整備等	想定される使い方 (ターゲットを含む)	実現に向けた具体的な 方法や課題	受益者負担
音楽ができる	<ul style="list-style-type: none"> 防音設備 (合唱・管楽器・バンド) 音響設備 (マイクなど) アンプ・ドラムセット アップライトピアノ 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生・大学生 (安く借りられればよい、子どもの利用を優先) 一般利用 	<ul style="list-style-type: none"> ■どこで： <ul style="list-style-type: none"> 建物内の、入ってすぐの場所 (コンサート) 練習用の専用室 (防音室) ■規模： <ul style="list-style-type: none"> バンド用の部屋、合唱 (30名収容など、広い部屋があればよい) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもは無料 大人は有料 (公共施設並み)
体を動かす (インドア・芝生・スポーツ)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツコート (弾力性のある床材) 芝生 3on3コート 卓球 アスレチック 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ■どこで： <ul style="list-style-type: none"> 建物の屋上 (スポーツコート) 芝生は公園内 ■どうやって： <ul style="list-style-type: none"> テニスコートの多目的化 ■規模： <ul style="list-style-type: none"> バスケットコート、フットサルコートの規模が取れると理想的 	<ul style="list-style-type: none"> 無料
多世代交流	<ul style="list-style-type: none"> 和室 		<ul style="list-style-type: none"> ■どこで： <ul style="list-style-type: none"> 建物内の、入ってすぐの場所 	
アウトドア・防災	<ul style="list-style-type: none"> かまどベンチ 			
学習に取り組める	<ul style="list-style-type: none"> 自習室 (市内で勉強できる場所がない) 			

<グループ② 総括>

現状の施設の制約条件を踏まえ、「音楽ができる」に対して、練習ができる防音室の設置と発表用の多目的空間、「体を動かす」に対して、屋上の活用やテニスコートの多目的化の提案がなされた。敷地、建物、予算等の制約条件下において、専用の諸室を設けなくても、多目的化や真に必要な機能の絞り込みを行うことで、「子どもを安心して連れていける児童館・図書館・公園で受きたいサービス」として挙げられたニーズに対応できるという結論に至った。

(4) グループ③

・ 第1回：“新しい児童館・図書館・公園で受きたいサービス”のアイデア出し



マークの意味

- トピック：複数のアイデアをグルーピングしたもの
- ★ 意見交換時に出た「イベントでの代用が可能なアイデア」
- 意見交換まとめ時に確認した「グループの特徴・特色のあるキーワード」
- 😊 アイデア発表時に発表いただいた「おもなキーワード」

議論した項目 選んだトピック等	必要な整備等	主体	実現に向けた具体的な方法や課題	他
外で遊べる	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の段階で敷地に遊べる区画を整理する必要がある (ランドスケープ) ・遊具があるところとないところを分ける ・流れるプールで遊びたい(正方形・深さ2.5mのプールを整備する) ・遊びとなる場所として未整備・未舗装(泥んこ遊びなどができるような)のところも考慮して整備を進める 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ■管理について： <ul style="list-style-type: none"> ・安全面を考慮して、外で遊ぶ区画と駐車場を分けて管理を行う (行政・NPO、ボランティアなど) ■資金について： <ul style="list-style-type: none"> ・補助金など (内閣府の先進的地域振興等の助成金で継続的な資金を得るなど) ・連携 (国立看護大学と場所や設備の共有など) 	<ul style="list-style-type: none"> ★委員会があったら・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・道を作りたい ・ルールをつくりたい ・壁に色を塗りたい(柄など) ・児童館をきれいに保ちたい(掃除、壁磨きなど) ・遊具を作りたい ・行事の管理をしたい ・売店で売る物を決めたい ・植物を植えたい ・清瀬のマークをかきたい ・子どものかいた手紙を掲示したい
行きたい児童館・図書館・公園を実現するための自分たちの関わり方		子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども委員会やサークルをつくる ※大人がフォローに入る (ルールづくり、土曜日スクールの募集など) ・大人の会議や委員会の場へ参加 ・行事の企画・管理 ・遊具をつくる(木製、ツリーハウスなど) ・おススメの本の紹介 ・外壁などに自分たちで絵を描く(ペインティング) ・お知らせチャームをつくる(音楽) ・道をつくる(案内板を自分たちでつくるなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような子どもの意見が必要な場があることを行政が学校へ届くように発信をする(情報発信)

<グループ③ 総括>

子どもが主体の「委員会」等を設置して、自発的にルールづくりや様々な活動を行うという提案がなされた。また、定期的に子どもたちの意見を集約し、行政への伝達を行うなど、子どもたち(自分たち)が運営に積極的に関わることで、「行きたい児童館・図書館・公園」を実現していきたいという結論に至った。